

消費生活センターだより



心あたりのない 海外からの郵便物、小包に注意!

【事例1】 全く注文した覚えがないマスク1箱が、タイから請求書同封で送付された。対処法を知りたい。

【事例2】 国際郵便でポストに、表面が中国語・英語表記の封筒が届いた。開封したら30枚のマスクだった。連絡して返品すべきか。

【事例3】 外国の子ども達に寄付の援助をと、粗品とクレジットカード番号記入用紙が国際郵便で届いた。

【事例4】 夫宛に荷物が送付された。国内の大手サイトで注文したが、中国から届き不審だ。

【解説】 事例1・2のように注文していない場合には売買契約は成立していません。海外の業者でも日本の法律が適用されます。勝手に送り付け、代金を請求する販売方法は、ネガティブオプションとして特定商取引法で規制されています。代金を払ったり連絡する必要

はありません。送付された日から、業者による引き取りがないまま14日間を経過した時は、消費者が商品を自由に処分できません。後日業者の引き取りに応じる必要はありません。ただし、14日間は業者に所有権がありますので、使用せず保管しておきましょう。事例3は国連から派生したNPOから届いたもので、寄付はあくまでも任意です。粗品の懸念は不要です。クレジットカードの利用は慎重に考えましょう。事例4は問い合わせた結果、ネット通販で申し込んだ商品でした。ネットやカタログで申し込んで海外から届くこともあり、注文時の確認が必要で、最近新型コロナウイルスの影響で宅配便量が増加しており、荷物が配送代行業者から届いた場合、依頼者が不明の場合もあります。

【アドバイス】

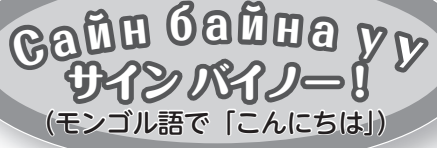
- 注文した覚えや心あたりがない場合は「送付票」の依頼主欄に記載の事業者名などの情報を記録し、受取拒否をする
- 不審な時は代金を払ったり押印・署名をしない
- 心あたりがない国際郵便物がポストに届いた場合は、押印か署名をし「受取拒絶」と書いてポストに投函すれば送付元に返送されます。
- 今後も新型コロナウイルス感染症につけ込む新種の悪質商法が出現すると考えられます。個人情報情報の流出には気をつけましょう。

困った時は、消費生活センターにご相談ください。

モンゴル国のマラソン選手団の合宿

問合先 自治振興課

国際交流員オギー通信



泉佐野市は、モンゴル国のホストタウンとして内閣府の登録を受けており、平成29年度から毎年2月前後の約1ヵ月間、マラソン種目の事前合宿を受け入れています。

今年度は、2月9日～3月17日の予定で、3回目となるモンゴル国マラソン選手団（選手6人、コーチ2人）の事前合宿を受け入れました。選手団は合宿中の2月に周辺地域で開催されたKIX泉州国際マラソン大会に出場して、ホストタウンをPRしたほか、私立安松幼稚園のマラソン大会へのゲスト参加、佐野台小学校のリレー競争など、さまざまな交流イベントで市民との交流を深めました。（残念ながら中止になった交流事業もあります。）

また、新型コロナウイルスの影響でモンゴル国への帰国便が全て欠航になったことから、合宿を終了しても帰国ができない状況になり、合宿期間を延長することになりました。泉佐野市で3回も合宿したTs.ビャムバジャブ選手がオリンピック内定を取っていますが、他の選手に関してはオリンピックが延期になったことを「内定チャンスの期間」と前向きに受け取りました。市側



▲私立安松幼稚園のマラソン大会

からは延長期間中にできるだけ選手団がストレスや不安なく練習できるようサポートを続けた結果、多くの選手がベストタイムを更新することができました。

選手団はモンゴル政府のチャーター便で帰国できることが決まり、6月11日にやっとなり帰国し、約4ヵ月間の泉佐野市での合宿が無事に終了しました。帰国後に選手団はウランバートル周辺のホテルで3週間、続いて自宅で2週間隔離され、7月の中旬からやっとなり練習に戻ることができました。

選手団は帰国前に「世界中が困難である中、泉佐野市は僕たちを我が子のように見守ってくれました。これまでに交流したみなさん、練習中に『頑張れよ』と声をかけてくれる市民のみなさん、宿泊先のスタッフ、市長や市職員のみなさんの皆さんの応援の中、安心して練習することができました。これからの大会の結果で泉佐野市に恩返ししていきます。縁があれば、ホストタウン事業が終了しても第二のふるさととなった泉佐野市と交流を続けたいです。」と心からの感謝の気持ちを伝えてくれました。



◀国際交流員のオギー

今月のモンゴル語

- тамирчин (タミルチン)：選手
- марафон (マラフォン)：マラソン
- хицээгээрэй (ヒチエゲレイ)：頑張れ